

知り合う

過去に「どうしても願っている通りになってほしい」と切実に願った結果があったけれど、今振り返ってみると、その通りにならなくて良かったと感謝している経験はありますか？

聖句　ヨハネの手紙一 5:14-17（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

14 何事でも神の御心に適うことを願うなら、神は聞いてくださる。これこそ私たちが神に抱いている確信です。15 私たちは、願い事を何でも聞いてくださると知れば、神に願ったことは、すでにかなえられたと知るのです。16 もし誰かが、死に至らない罪を犯しているきょうだいを見たら、神に願いなさい。そうすれば、神は死に至らない罪を犯した人に命をお与えになります。しかし、死に至る罪もあります。これについては、願い求めなさいとは言いません。17 不正はすべて罪ですが、死に至らない罪があります。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び: 今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 神様が私たちの祈りを聞いてくださるという確信を持つために、満たされなければならない具体的な条件は何ですか？（14節）

2. 私たちが願うことは何でも神様が聞いてくださると知っているなら、私たちはどのような結果を確信（知る）ことができますか？（15節）

3. 死に至らない罪を犯している兄弟のために信者が祈る（求める）時、神様はその罪を犯している人に具体的に何を与えてくださいますか？（16節）

4. ヨハネは「すべての不義」を何と定義していますか？また、すべての不義が死に至るものですか？（17節）

分かち合い: 話し合い

話し合い 1

武牧師は、私たちが『御子の命』の中に生きることを、単なる行いの矯正ではなく、その文化に身を置いて言葉を覚えるプロセスに例えて話されました。キリストと同じように考え、応答し、愛するために、皆さんが日々主の命に留まる（浸る）ための具体的な習慣や心の整え方はありますか？

話し合い 2

武牧師は、『神様がご自身の恵みに頼ることを教えるために、あえて答えを遅らせることがあるが、私たちは神様が祈りを聞いてくださっていないと思い込み、怒りを感じてしまうことがある』と話されました。このような、もどかしい『待ちの時間』にある時、私たちはどのように具体的に支え合い、励まし合うことができるでしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。